

## 『働く女性の健康と健やかで幸せを実現するフェムテックの動向』

日時:2024年8月27日(火) 13:30-16:30

会場:石川県政記念しいのき迎賓館3階セミナールームB [オンライン併用]

フェムテックは、女性の健康と幸福をサポートするための新しい分野です。

本研究会では、国内外で発展途上にあるフェムテックの最新動向や成功事例、地域企業での女性活躍と健康に向けた取り組みについて紹介するとともに、企業(職域)を対象としたフェムテック技術の実現可能性と経済的な利点を分かりやすく解説します。

北陸地域の持続可能な成長とイノベーション創出に向け、男女平等が推進され、女性が活躍しやすく、明るく希望に満ちた社会(働く・学ぶ・住む)を実現するためのビジョンを共有します。

皆様のご参加をお待ちしております。[今回は、4回シリーズの内の第1回目として開催します。第2回(10/25 オンライン)、第3回(12/13 オンライン)、第4回(2/28 ハイブリッド)の詳細は後日ご案内します。]

## プログラム

13:30-13:35	開会挨拶
13:35-15:05	講演 「国内のフェムテックの現状と今後」 事業構想大学院大学 特任教授 西根 英一 氏 「海外におけるジェンダード・イノベーションとフェムテックの動向」 芝浦工業大学 准教授 平田 貞代 氏 「地域企業における働く女性の健幸課題と対策等」 立山科学グループ 執行役員 篠原 おりえ 氏 「バイオデザインにおけるフェムテック領域の開発事例」 東京大学医学部附属病院 バイオデザイン部門長 前田 祐二郎 氏
15:05-15:15	休憩
15:15-16:00	パネルディスカッション「働く女性のウェルビーイング実現の方法」 モデレーター: 事業構想大学院大学 特任教授 西根 英一 氏 パネリスト: 芝浦工業大学 准教授 平田 貞代 氏 立山科学グループ 執行役員 篠原 おりえ 氏 東京大学医学部附属病院 バイオデザイン部門長 前田 祐二郎 氏
16:00-16:05	閉会挨拶
16:05-16:30	名刺交換

## 【お申込み・お問い合わせ事務局】

一般財団法人北陸産業活性化センター

TEL: 076-264-3001 Mail: [sanka@hiac.or.jp](mailto:sanka@hiac.or.jp) WEB: <https://www.hiac.or.jp>第1回参加申込フォーム: <https://forms.office.com/r/MjPMe0AMsw?origin=lprLink>

8月20日(火)までに、参加申込フォームよりお申し込みください。



主催: 一般財団法人北陸産業活性化センター

後援: とやまヘルスケアコンソーシアム、石川県次世代ヘルスケア産業協議会、福井しあわせ健康産業協議会

一般社団法人日本フェムテック協会、北陸経済連合会

協力: 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

## 講演概要・講師紹介

### 「国内のフェムテックの現状と今後」

事業構想大学院大学 特任教授 西根 英一 氏

概要:フェムケアが語られるようになって久しい。しかしながら、これまでは女性の健康課題としてフェムケアの「事実」が表層的に語られるだけで、深層的な社会問題としてフェムケアの「真実」に触れてこなかった。それに同調するフェムテックもまた、機能的かつ客観的に解決する技術開発が先に立ち、情緒的かつ主観的な介入支援に疎いのが現状である。“女性特有の”で括るだけでなく、共通の課題と特異な問題を探索的に、未の事象と不と心象を成す因子を形成的に捉える「フェムテック開発要件」をデザインしていくことが今後求められよう。

略歴:ヘルスケアビジネスとヘルスプロモーションのプロジェクトデザインの専門家として、企業案件と自治体事業と学術研究の3領域で指揮をとる。大塚グループ、電通グループ、マツキャン・ワールドグループ(最高知識責任者)を経て、株式会社ヘルスケア・ビジネスナレッジ 代表取締役社長、事業構想大学院大学 特任教授、千葉商科大学サービス創造学部 特命教授、北海道科学大学薬学部 教授(非常勤)。

事業詳細 <https://www.healthcarebiz.jp/>  
研究分野 <https://researchmap.jp/nishine>



### 「海外におけるジェンダード・イノベーションとフェムテックの動向」

芝浦工業大学 准教授 平田 貞代 氏

概要:シービング教授は、研究、設計、評価、経営の意思決定の殆どを男性が行うために女性のみが弊害が生じる製品が提供されていることを指摘し、2005年に「ジェンダード・イノベーション」を提唱した。その後、身体構造の違いによるセックスと性別役割分担をはじめとするジェンダーという2つの性別差の分析を反映した製品やサービスの提供が重視され、その事業化としてフェムテックが普及した。これらの諸外国の事例の動向を紹介する。

略歴:東京工業大学博士(学術)、富士通(株)にて国内外の情報システムの構築、法政大学客員准教授・芝浦工業大学准教授・東北大学特任准教授として技術経営学の研究・教育、SCSK(株)会社社外取締役、日本学術会議連携会員、総務省情報通信審議会技術戦略委員会委員、21世紀職業財団IT産業女性研究会主査など。



### 「地域企業における働く女性の健幸課題と対策等」

立山科学グループ 執行役員 篠原 おりえ 氏

概要:富山県のものづくり企業である当グループでは、2018年から女性活躍推進に関するプロジェクト活動に取り組み、徐々に成果を出しつつある。今回はその取り組みについて紹介するとともに、「働く女性がどのようなところで課題を感じているか」や「女性が健やかで幸せに働ける職場にしていけるには？」などについても紹介する。

略歴:2000年4月立山科学工業株式会社(現 立山科学株式会社)入社。技術部、技術本部チームリーダー、セクションマネージャー、総務部人事労務グループ セクションマネージャーを経て2021年より執行役員。



### 「バイオデザインにおけるフェムテック領域の開発事例」

東京大学医学部附属病院 バイオデザイン部門長 前田 祐二郎 氏

概要:米国スタンフォード大学発の医療テクノロジー起業プログラムであるバイオデザインでは、医療現場における課題に対する共感を起点として多くのスタートアップと起業家を輩出しており、人材育成プログラムとしての成功を続けている。以前は、医療における女性の課題を対象にすることは、マーケットを限定する意味を持っていた。しかし、バイオデザインにおいても病院やクリニックといった医療機関が舞台である狭義の医療から生活そのものが対象であるヘルスケア・ウェルビーイングへと対象領域が拡大し、女性の課題に焦点を当てたフェムテック領域の開発事例も生み出されている。今回は、共感を起点としたテクノロジー開発であるバイオデザインについて紹介するとともに、フェムテック領域での事例を紹介する。

略歴:医療現場のニーズからスタートする医療テクノロジー開発を提唱。東京大学でスタンフォード大学と連携した医療テクノロジーイノベーターの世界的コミュニティである“バイオデザイン”を運営。他に、医療テクノロジーインキュベーターのプレモパートナー株式会社の創業者取締役 CSO、医療・ヘルスケア領域に特化したベンチャーキャピタルの BD Fund 株式会社代表パートナー&CEO、医療 AI スタートアップのアイリスのディレクター、医療法人社団こずえ会会長、東京薬科大学特命教授、早稲田ビジネススクール講師。歯科医師・医学博士。

